

Course number		G-LAS12 80052 LJ13					
Course title (and course title in English)		プラットフォーム学展望 Perspective in Platform Studies		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Informatics Professor, HARADA HIROSHI	
Group		Interdisciplinary Graduate Courses		Field(Classification)		Statistics, Informatics and Data Science	
Language of instruction		Japanese		Old group		Number of credits 2	
Number of weekly time blocks		1		Class style Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2026・Second semester	
Days and periods		Tue.5		Target year Graduate students		Eligible students For all majors	
(Students of Graduate School of Informatics cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
[Overview and purpose of the course]							
本講義では、社会に遍在する各種情報をデジタルデータ化し、そのデータを広範囲に収集し、ビッグデータと呼ばれる大規模データとして蓄積、それらデータの整理・分析・共有するという情報通信（ICT）技術を利用した“プラットフォーム”に関連するテーマについて、本研究科の教授、プラットフォーム学卓越大学院プログラム担当教員、外部講師により最先端の話題の提供を行う。							
[Course objectives]							
情報通信技術の観点からプラットフォーム学を俯瞰し、特に、知能情報学・先端数理科学・数理工学・システム科学・通信情報システムに関する理解を深めるとともに、今後の展望を自ら考える。							
[Course schedule and contents]							
1. プラットフォームの概要（1回）：プラットフォーム学で取り上げるプラットフォームの概要を解説する。 2. 通信情報システムとプラットフォーム（1回）：社会に遍在する各種情報・データをサイバー空間に収集し、収集したビッグデータを処理した結果を実空間にフィードバックするプラットフォームで利用される通信情報システムを展望する。 2. 知能情報学とプラットフォーム（3回）：サイバー空間上に収集された、センサー、メーター、モニター情報を知能情報学の観点で整理、解析、分析、利活用する実際を展望する。 3. 先端数理科学とプラットフォーム（1回）：サイバー空間上に収集された、センサー、メーター、モニター情報を先端数理科学の観点で整理、解析、分析、利活用する実際を展望する。 4. 数理工学とプラットフォーム（1回）：サイバー空間上に収集された、センサー、メーター、モニター情報を数理工学の観点で整理、解析、分析、利活用する実際を展望する。 5. システム科学とプラットフォーム（2回）：サイバー空間上に収集された、センサー、メーター、モニター情報をシステム科学の観点で整理、解析、分析、利活用する実際を展望する。 6. 情報通信基盤を利用したプラットフォームの実際（4回）：社会で実運用されている情報通信基盤を利用したプラットフォームの実際を展望する。 7. 到達度評価 1回（レポート試験）							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
各テーマごとに課すレポート課題により評価する。また、平常点、授業への積極的な参加も評価に用いる。							
Continue to プラットフォーム学展望(2) ↓↓↓							

プラットフォーム学展望(2)
[Textbooks]
Not used
[References, etc.]
(References, etc.) 原田博司『プラットフォーム学』（Kadokawa, 2024年）ISBN:9784049111415
[Study outside of class (preparation and review)]
各講義の復習を行い、レポート課題に取り組む。
[Other information (office hours, etc.)]
オフィスアワーはメールのやり取りで随時行う。メールアドレスは授業中に示す。
[Essential courses]